

令和 3 年度


志摩市児童福祉施設遊具設置工事

No	図 面 名 称
A-01	改修特記仕様書（１）
A-02	改修特記仕様書（２）
A-03	改修特記仕様書（３）
A-04	改修特記仕様書（４） 概略工程表
A-05	配置図（安乗保育所）
A-06	配置図（立神保育所）
A-07	遊具詳細図（すべり台）
A-08	遊具詳細図（雲梯）
A-09	遊具詳細図（鉄棒）
A-10	遊具詳細図（ブランコ）

[illegible]

	工事名 令和3年度 志摩市児童福祉施設遊具設置工事	図名	縮尺	 瀧 鼻 設 計 事 務 所 一級建築士事務所 三重県知事登録第 1-1789 号 三重県志摩市阿児町立神3055-1 TEL 0599-45-2188 FAX 0599-45-5335	一級建築士 大臣登録第284718号 瀧 鼻 健 一	図面No. A-01
		特記仕様書①				

[illegible]

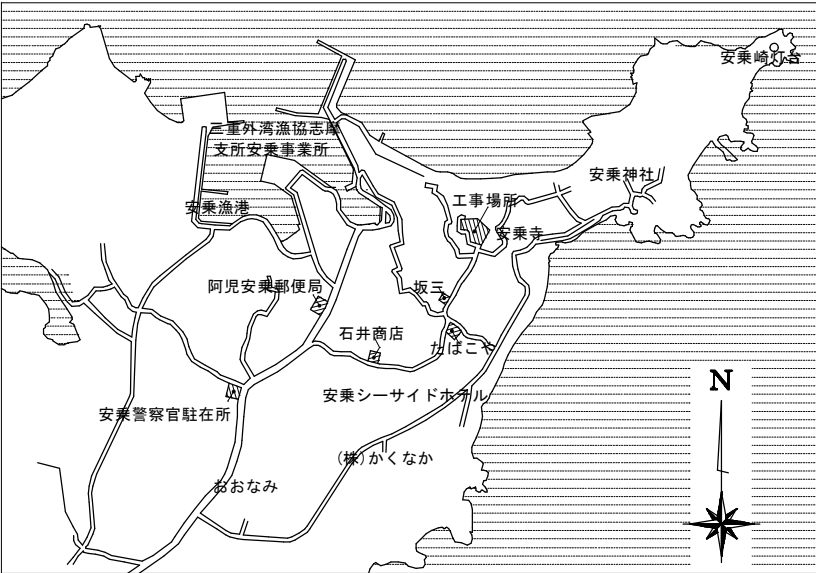
工事名 令和3年度 志摩市児童福祉施設遊具設置工事	図名	縮尺	 鵜 鼻 設 計 事 務 所 一級建築士事務所 三重県知事登録第 1-1789 号 三重県志摩市阿児町立神3055-1 TEL 0599-45-2188 FAX 0599-45-5335	一級建築士 大臣登録第284718号 鵜 鼻 健 一	図面No. A-02
	特記仕様書②				

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																												
8 改修工事	21 無筋コンクリート 設計基準強度 スランブ 適用箇所 ・ 18, 21 (N/mm ²) ・ 8cm ・ 標準仕様書 6.14.1(e) による箇所 ・ 図示による () 22 流動化 コンクリート 適用箇所 ・ 図示による () 23 ひび割れ誘発目地、 打継目地 目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3 による 間隔・位置・形状 ・ 図示による () 24 コンクリートの 仕上り 部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 ・ 標準仕様書 8.1.2 による 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ <table><tr><th>種別</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・ A 種</td><td></td></tr><tr><td>・ B 種</td><td></td></tr><tr><td>・ C 種</td><td></td></tr></table> 25 打増し厚さ (打放し仕上げ部) 打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・ 20mm 打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm 26 型枠 せき板の材料及び厚さ ・ 合板 2mm 断熱材の兼用 ・ 行わない ・ 行う M C R 工法用シート ・ 用いる 打増し厚さ ・ 20mm 打増し範囲 ・ 図示による () ・ 用いない スリーブの材質 ※改修標準仕様書 8.2.7(f) (2) (i) 又は (ii) による 27 型枠の加工 及び部位 セパレータをシアコネクタとして使用 適用箇所 ・ 図示による () 28 コンクリートの 打込み工法等 部位毎のコンクリート打設工法の指定 <table><tr><th>補強工法</th><th>打設工法</th><th>部位</th></tr><tr><td rowspan="4">・ 現場打ちコンクリート壁 の増設工事</td><td>・ 工法指定なし</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td>・ 流込み工法 8.19.8(a) (1)、(b)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td>・ 圧入工法 8.19.8(a) (2)、(c)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td></td><td>・ 図示による ()</td></tr><tr><td rowspan="4">・ 鉄筋コンクリート柱の 溶接鋼網巻き及び 溶接閉鎖フープ巻き 工法</td><td>・ 工法指定なし</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td>・ 流込み工法 8.19.8(a) (1)、(b)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td>・ 圧入工法 8.19.8(a) (2)、(c)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td></td><td>・ 図示による ()</td></tr><tr><td rowspan="4">・</td><td>・ 工法指定なし</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td>・ 流込み工法 8.19.8(a) (1)、(b)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td>・ 圧入工法 8.19.8(a) (2)、(c)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td></td><td>・ 図示による ()</td></tr></table> 鉄筋コンクリート柱の溶接鋼網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法での型枠等 柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ・ 発砲プラスチック保温材等を埋込む 柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示による () 既存柱外周部あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ ・ 図示による ()	種別	適用箇所	・ A 種		・ B 種		・ C 種		補強工法	打設工法	部位	・ 現場打ちコンクリート壁 の増設工事	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・ 流込み工法 8.19.8(a) (1)、(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・ 圧入工法 8.19.8(a) (2)、(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()		・ 図示による ()	・ 鉄筋コンクリート柱の 溶接鋼網巻き及び 溶接閉鎖フープ巻き 工法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・ 流込み工法 8.19.8(a) (1)、(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・ 圧入工法 8.19.8(a) (2)、(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()		・ 図示による ()	・	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・ 流込み工法 8.19.8(a) (1)、(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・ 圧入工法 8.19.8(a) (2)、(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()		・ 図示による ()	8 改修工事	32 高力ボルト ボルトの区分 ・ トルシア形高力ボルト セットの種類 ・ 2 種 (S10T) ・ JIS 形高力ボルト セットの種類 ・ 2 種 (F10T) 高力ボルトの径 ・ 図示による () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による () すべり係数試験 ※行わない ・ 行う 試験方法等 ・ 図示による () 33 普通ボルト ボルト及びナットの材料 ・ 標準仕様書 表 7.2.3 による 座金 ・ 標準仕様書 表 7.2.3(d) による ボルトの径 ・ 図示による () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による () 34 溶融亜鉛めっき 高力ボルト セットの種類 ・ 1 種 (F8T 相当) 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による () 溶融亜鉛めっき高力ボルトのメッキ前の孔径 ・ 審査 (評定又は大臣認定) を受けた内容による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による () 摩擦面の処理 ・ プラスト処理 (表面粗度 50 μm Rz 以上) ・ プラスト処理以外の特別な処理方法 ・ 図示による () すべり耐力の確認方法 ※すべり係数試験 試験方法等 ・ 図示による () 35 アンカーボルト 適用 ・ 構造用アンカーボルト セットの種類 (JIS B 1220又はJISⅡ13-2004) ・ ABR400 ・ ABR490 形状、寸法 ・ 図示による () ・ 建方用アンカーボルト 種類 ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上 げの程度 ※標準仕様書 表 7.2.3 による 形状、寸法 ・ 図示による () 36 溶接材料 溶接材料 ・ 改修標準仕様書 8.2.10(a) (b) による ・ 図示による () 種類 ・ 建築用ターンバックル鋼 ※割枠式 ・ 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ねじの呼び ・ 図示による () 38 デッキプレート 材質、形状及び寸法 <table><tr><th></th><th>適用範囲</th><th>材質、形状、寸法</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ デッキプレート 単独の構法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ デッキプレートと コンクリートとの 合成スラブとする 構法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 床型枠用</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 開口部補強要領 (補強筋の定着長さ等を含む) ・ 図示による () 鉄骨部材への溶接方法 図示による () 耐火認定 ・ 有り 耐火時間 ・ 図示による () ・ 無し 39 スタッ 材質、形状及び寸法 ※頭付キスタッド JIS B 1198 種類等 <table><tr><th>呼び名</th><th>呼び長さ (mm)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・ 16</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 19</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 22</td><td></td><td></td></tr></table> 40 柱底均しモルタル モルタルの種類 ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び調合 材料、調合等 ※改修標準仕様書 8.2.11 による 41 工作図 監督職員による原寸検査 ・ 行わない ・ 行う 既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上作成を行う		適用範囲	材質、形状、寸法	備考	・ デッキプレート 単独の構法				・ デッキプレートと コンクリートとの 合成スラブとする 構法				・ 床型枠用				呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所	・ 16			・ 19			・ 22			8 改修工事	42 製作精度 ※改修標準仕様書 8.12.2 による [8.12.2] 通しダイヤフラムの許容誤差 ・ ダイヤフラムを H12 建告第 1464 号第二号イ (1) (2) に規定するただし書き の計算確認有り 補強方法 ・ 「突合わせ溶接の食い違い仕口のずれ検査・補強マニュアル」による ・ 全てのダイヤフラムは H12 建告第 1464 号第二号イ (1) (2) に規定する仕様 を満足すること 43 鉄骨の仮組 ・ 行わない ・ 行う 仮組を行う範囲 ・ 図示による () 確認方法、確認項目 ・ 図示による () 44 溶接技能者の技量 付加試験 試験の要領 ・ 図示による () 45 溶接接合 開先の形状 ・ 図示による () スカラップの形状 ・ 図示による () エンドタブの切除する部分 ・ 見え掛り部となる部分 ・ 図示による () ・ 見え隠れ部となる部分 ・ 図示による () ・ 切除する部分無し 溶接部の余盛り高さ ・ JASS6 付則 6 「鉄骨精度検査基準」 付表 3 「溶接」による 46 入熱、バス間温度 の溶接条件 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ・ 図示による () 適用箇所 ・ 図示による () ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部 47 溶接部の試験 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※全数 ・ 工事現場溶接の場合 ※全数 突合せ継手の食い違い仕口のずれ検査 「突合せ継手の食い違い仕口のずれ検査・補強マニュアル」による ・ 抜き取り検査① ※抜き取り検査② 48 錆止め塗装 塗料の種類 ・ 鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ※改修標準仕様書 7.3.2 表 7.3.1A 種 屋内 ※改修標準仕様書 7.3.2 表 7.3.1 () 種 ・ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ・ 改修標準仕様書 7.3.2 / 表 7.3.2 () 種 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブ内面 (鉄骨に溶接されたものに限る) ※改修標準仕様書 7.3.2 / 表 7.3.1A 種 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・ 行わない ・ 行う 適用箇所 ・ 図示による () 塗料の種別 ・ 改修標準仕様書 7.3.2 表 7.3.1 () 種 ・ 改修標準仕様書 7.3.2 表 7.3.2 () 種 49 耐火被覆材 種類 [8.17.2~8.17.7] <table><tr><th>種類</th><th>材料・工法</th><th>適用箇所 (部位・部分)</th></tr><tr><td rowspan="4">・ 耐火材吹付け</td><td>・ 乾式吹付けロックウール</td><td></td></tr><tr><td>・ 半乾式吹付けロックウール</td><td></td></tr><tr><td>・ 湿式ロックウール</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">・ 耐火板張り</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 繊維混入けい酸カルシウム板</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">・ 耐火材巻付け</td><td>・ 高耐熱ロックウール</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 珪藻土モルタル塗り</td><td></td><td></td></tr></table> 材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたもの とする。 性能 <table><tr><th>性能</th><th>適用箇所 (部位・部分)</th></tr><tr><td>・ 30分耐火</td><td></td></tr><tr><td>・ 1時間耐火</td><td></td></tr><tr><td>・ 2時間耐火</td><td></td></tr><tr><td>・ 3時間耐火</td><td></td></tr></table> 50 建方精度 ※JASS 付則 6 「鉄骨精度基準」 付表 「工事現場」による (7.10.2) 51 アンカーボルト等 の設置 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・ 図示による () 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 ※標準仕様書 表 7.10.2 (※A 種 [厚さ 50] ・ B 種 [厚さ 30]) による 52 軽量形鋼構造 接合部 (ボルト接合の場合) ・ 普通ボルト接合 (7.11.2) 種類等 (7.12.3) <table><tr><th>亜鉛めっき の種類</th><th>材料</th><th>適用箇所 (部位・部分)</th></tr><tr><td>A 種</td><td>最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板</td><td></td></tr><tr><td>B 種</td><td>最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板</td><td></td></tr><tr><td>C 種</td><td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 2.3mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板</td><td></td></tr></table>						種類	材料・工法	適用箇所 (部位・部分)	・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール		・ 半乾式吹付けロックウール		・ 湿式ロックウール				・ 耐火板張り			・ 繊維混入けい酸カルシウム板				・ 耐火材巻付け	・ 高耐熱ロックウール				・ 珪藻土モルタル塗り			性能	適用箇所 (部位・部分)	・ 30分耐火		・ 1時間耐火		・ 2時間耐火		・ 3時間耐火		亜鉛めっき の種類	材料	適用箇所 (部位・部分)	A 種	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板		B 種	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板		C 種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 2.3mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板		8 改修工事	54 鉄骨ブレース設置 後の仕上げ ・ 図示による () [8.20.9] 55 あと施工アンカー 材料等 ・ 金属系アンカー ・ 引張耐力 () ・ セン断耐力 () セツト方式 ※本体打込み式改良型 接合筋の種類、径、長さ ・ 図示による () アンカー本体の径及び埋込み深さ ・ 図示による () ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による () ・ 接着系アンカー ・ 引張耐力 () ・ セン断耐力 () セツト方式 ※カプセル型回転・打撃式 接着剤の品質 ・ 有機系 ・ 無機系 アンカー筋の種類 ・ 改修標準仕様書 表 8.2.1 の異形棒鋼 アンカー筋の径及び埋込み深さ ・ 図示による () アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示による () ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による () 56 穿孔前の埋込み 配管等の探査 探査方法 ・ 鉄筋探知機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつり出しによる 57 施工確認試験 試験方法 ※引張試験 確認強度 ・ 図示による () [8.11.5] 58 モルタル及び グラウト材 ・ 構造体用モルタル ・ 改修標準仕様書 8.2.6 による 圧縮強度 () フロー値 () ・ 改修標準仕様書 8.2.11 による ・ グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 <table><tr><td>混和材</td><td>セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サル ファ・アルミネート等) によって膨張する性質を利用す るものとする。</td></tr><tr><td>セメント</td><td>JIS R 5210 「ポルトランドセメント」に適合した普 通または早強ポルトランドセメントとする。</td></tr><tr><td>砂</td><td>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を 有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で 使用する。 ただし、現場調査に使用される砂の乾燥状態につい ては、規定しない。</td></tr></table> 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 <table><tr><th>コンシステンシー</th><td>フローートによる流下時間 線まで完了から 3 分以内の値 : 8 ± 2 秒</td></tr><tr><th>ブリージング</th><td>凝り混ぜ完了後 2 時間以内のブリージング率 : 2.0% 以下</td></tr><tr><th>凝結時間</th><td>凝結開始時間 : 1 時間以内 凝結時間 : 10 時間以内</td></tr><tr><th>無収縮性</th><td>材齢 7 日 収縮しない</td></tr><tr><th>圧縮強度</th><td>材齢 3 日 20.0N/mm² 材齢 28 日 40.0N/mm²</td></tr><tr><th>塩化物量</th><td>0.30kg/m³ 以下</td></tr><tr><th>試験方法</th><td>1) NEXCO 試験方法 試験法 312—1999 「無収縮モル タル品質管理試験方法」による。「プレミックス 形と試験方法」による。プレミックス形と現場 調査で混和材が同一の場合はプレミックス形 のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144 「フレッシュコ ンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」 による。</td></tr></table> <連続繊維補強> 59 適用範囲 連続繊維補強工法 ・ 連続繊維シートを柱に巻き付けて補強する工法 ・ 60 連続繊維シート 連続繊維の材料 ・ 炭素繊維 ・ アラミド繊維 連続繊維の材質 引張強度 (含浸硬化後) ・ () N/mm ² ヤング係数 (含浸硬化後) ・ () N/mm ² ・ ひび割れ部改修 範囲 ・ 図示による () 種類 ※改修標準仕様書 8.21.7(a) (2) による ・ 連続繊維補強材の引張強度試験 引張り強度試験 ・ JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シート) の引張試験方法) による 試験数量 ・ 図示による () ・ 連続繊維補強材の付着強度試験 付着強度試験 ・ JIS A 6909 (建築用仕上塗材) による 試験数量 ・ 図示による () ・	混和材	セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サル ファ・アルミネート等) によって膨張する性質を利用す るものとする。	セメント	JIS R 5210 「ポルトランドセメント」に適合した普 通または早強ポルトランドセメントとする。	砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を 有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で 使用する。 ただし、現場調査に使用される砂の乾燥状態につい ては、規定しない。	コンシステンシー	フローートによる流下時間 線まで完了から 3 分以内の値 : 8 ± 2 秒	ブリージング	凝り混ぜ完了後 2 時間以内のブリージング率 : 2.0% 以下	凝結時間	凝結開始時間 : 1 時間以内 凝結時間 : 10 時間以内	無収縮性	材齢 7 日 収縮しない	圧縮強度	材齢 3 日 20.0N/mm ² 材齢 28 日 40.0N/mm ²	塩化物量	0.30kg/m ³ 以下	試験方法	1) NEXCO 試験方法 試験法 312—1999 「無収縮モル タル品質管理試験方法」による。「プレミックス 形と試験方法」による。プレミックス形と現場 調査で混和材が同一の場合はプレミックス形 のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144 「フレッシュコ ンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」 による。
種別	適用箇所																																																																																																																																																		
・ A 種																																																																																																																																																			
・ B 種																																																																																																																																																			
・ C 種																																																																																																																																																			
補強工法	打設工法	部位																																																																																																																																																	
・ 現場打ちコンクリート壁 の増設工事	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																																																																																																																																	
	・ 流込み工法 8.19.8(a) (1)、(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																																																																																																																																	
	・ 圧入工法 8.19.8(a) (2)、(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																																																																																																																																	
		・ 図示による ()																																																																																																																																																	
・ 鉄筋コンクリート柱の 溶接鋼網巻き及び 溶接閉鎖フープ巻き 工法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																																																																																																																																	
	・ 流込み工法 8.19.8(a) (1)、(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																																																																																																																																	
	・ 圧入工法 8.19.8(a) (2)、(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																																																																																																																																	
		・ 図示による ()																																																																																																																																																	
・	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																																																																																																																																	
	・ 流込み工法 8.19.8(a) (1)、(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																																																																																																																																	
	・ 圧入工法 8.19.8(a) (2)、(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																																																																																																																																	
		・ 図示による ()																																																																																																																																																	
	適用範囲	材質、形状、寸法	備考																																																																																																																																																
・ デッキプレート 単独の構法																																																																																																																																																			
・ デッキプレートと コンクリートとの 合成スラブとする 構法																																																																																																																																																			
・ 床型枠用																																																																																																																																																			
呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所																																																																																																																																																	
・ 16																																																																																																																																																			
・ 19																																																																																																																																																			
・ 22																																																																																																																																																			
種類	材料・工法	適用箇所 (部位・部分)																																																																																																																																																	
・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール																																																																																																																																																		
	・ 半乾式吹付けロックウール																																																																																																																																																		
	・ 湿式ロックウール																																																																																																																																																		
・ 耐火板張り																																																																																																																																																			
	・ 繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																																																		
・ 耐火材巻付け	・ 高耐熱ロックウール																																																																																																																																																		
・ 珪藻土モルタル塗り																																																																																																																																																			
性能	適用箇所 (部位・部分)																																																																																																																																																		
・ 30分耐火																																																																																																																																																			
・ 1時間耐火																																																																																																																																																			
・ 2時間耐火																																																																																																																																																			
・ 3時間耐火																																																																																																																																																			
亜鉛めっき の種類	材料	適用箇所 (部位・部分)																																																																																																																																																	
A 種	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板																																																																																																																																																		
B 種	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板																																																																																																																																																		
C 種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 2.3mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板																																																																																																																																																		
混和材	セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サル ファ・アルミネート等) によって膨張する性質を利用す るものとする。																																																																																																																																																		
セメント	JIS R 5210 「ポルトランドセメント」に適合した普 通または早強ポルトランドセメントとする。																																																																																																																																																		
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を 有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で 使用する。 ただし、現場調査に使用される砂の乾燥状態につい ては、規定しない。																																																																																																																																																		
コンシステンシー	フローートによる流下時間 線まで完了から 3 分以内の値 : 8 ± 2 秒																																																																																																																																																		
ブリージング	凝り混ぜ完了後 2 時間以内のブリージング率 : 2.0% 以下																																																																																																																																																		
凝結時間	凝結開始時間 : 1 時間以内 凝結時間 : 10 時間以内																																																																																																																																																		
無収縮性	材齢 7 日 収縮しない																																																																																																																																																		
圧縮強度	材齢 3 日 20.0N/mm ² 材齢 28 日 40.0N/mm ²																																																																																																																																																		
塩化物量	0.30kg/m ³ 以下																																																																																																																																																		
試験方法	1) NEXCO 試験方法 試験法 312—1999 「無収縮モル タル品質管理試験方法」による。「プレミックス 形と試験方法」による。プレミックス形と現場 調査で混和材が同一の場合はプレミックス形 のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144 「フレッシュコ ンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」 による。																																																																																																																																																		

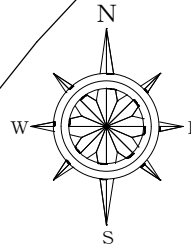
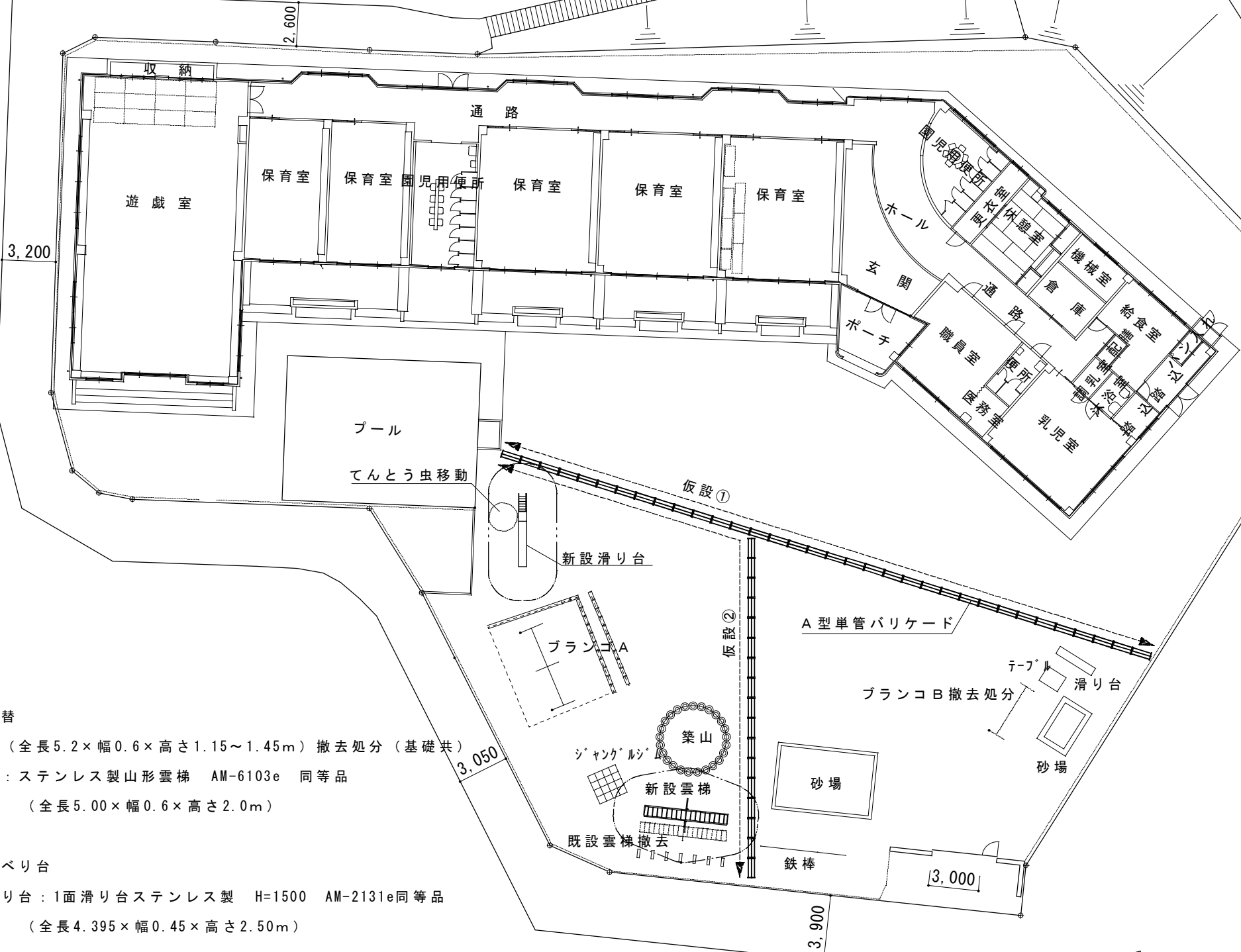
項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																												
8 耐震改修工事	61 連続繊維補強後の仕上げ ・ 図示による（ ） ・ [8.21.8]	9 環境配慮改修工事	2 断熱アスファルト防水改修工事 改修特記仕様書3章による [9.2.1～3]	9 環境配慮改修工事	7 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.7.2、3、5～9]	適用範囲：歩道 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・ 路床																																																																													
	＜耐震スリット＞ 62 スリットの方式 ・ 完全 ・ 部分 [8.22.2] 設置箇所 ・ 図示による（ ） ・ 耐震スリットの部分詳細 ・ 図示による（ ） ・		3 外断熱改修工事 [9.3.2～4] 断熱材 種類 厚さ (mm) ・ ビーズ法® リスレンフォーム保温材 ・ 押出法® リスレンフォーム保温材（スチなし） ・ 保温板（2種b） ・ 保温板（3種b） ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・ フェーフォーム保温材（3種2号を除く） ・ ロックウール ・ グラスウール 施工箇所 ・ 図示 ・ ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 外装材 種類 防火性能 備考 ・ 既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修標準仕様書4.1.4による ・ 工法 通気層の有無 ・ あり（ mm） ・ なし 断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による ・ 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する （建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法） ・ 適用しない 複層ガラス 品類 断熱性 日射熱遮へい性 厚さ ・ 断熱複層ガラス ・ 1種 U.1 ・ 2種 U.2 ・ 3種 U.3-1 ・ U.3-2 ・ 5 断熱・防震改修工事 [9.5.2～3] 断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ ・ 断熱打ち込み工法 種類 厚さ (mm) ・ ビーズ法® リスレンフォーム保温材 ※押出法® リスレンフォーム保温材（スチなし） ・ 保温板（2種b） ・ 保温板（3種b） ・ ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・ フェーフォーム保温材（3種2号を除く） 施工箇所 ・ 図示 ・ ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・ B種1 厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 施工箇所 ・ 図示 ・ ・ 現場発泡断熱材 （品質・性能） 工事建築材料等品質性能表による （試験方法） 工事建築材料等品質性能表による 6 屋上緑化改修工事 [9.6.1.2.3] 植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・ 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 ・ （品質・性能） 工事建築材料等品質性能表による （試験方法） 工事建築材料等品質性能表による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する （建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法） ・ 適用しない かん水装置 ・ 設置する（種類 ・ ） 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない		路床の材料 種別 材料 厚さ (mm) ・ 盛土 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 ・ 遮断層 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 （75μmふるい通過量10%以下） ・ 凍上抑制層 ・ 再生クラッシャーラン ・ クラッシャーラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 （75μmふるい通過量10%以下） ・ フィルター層 ・ 砂 ・ 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰（・特号 ・1号） ・ 消石灰（・特号 ・1号） ・ 添加量（ kg/m3）（目標CBR ・5以上 ・ ） ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m ² 以上 厚さ (mm) ・ 0.5～1.0 引張強さ ・ 98N/5cm（10kgf/5cm）以上 透水係数 ・ 1.5×10 ⁻² ～1cm/sec 以上 ・ 試験 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力比（CBR）試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 路盤 路盤の構成及び厚さ ・ 図示 路盤材料 ※再生材クラッシャーラン ・ クラッシャーラン鉄鋼スラグ ・ ・ 図示 試験 路盤締固め度の試験 ※行う ・ 行わない 舗装 材料 厚さ (mm) ストレータアスファルト ・ 図示 ・ 試験 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・																																																																														
	63 スリットの施工 既存撤去部の配管等の探査方法 [8.11.2] [8.22.2] ・ 鉄筋探査機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつり出しによる スリットの幅及び深さ ・ 図示による（ ） ・		4 ガラス改修工事 [9.4.2] 複層ガラス 品類 断熱性 日射熱遮へい性 厚さ ・ 断熱複層ガラス ・ 1種 U.1 ・ 2種 U.2 ・ 3種 U.3-1 ・ U.3-2 ・																																																																																
64 スリット充填剤 ・ 耐火材 [8.22.2] 使用箇所及び仕様 ・ 図示による（ ） ・ ・ 遮音材 使用箇所及び仕様 ・ 図示による（ ） ・																																																																																			
9 環境配慮改修工事	1 アスベスト含有建材の処理工事 [9.1.1.3～5] 施工調査 ※アスベスト含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲（・改修部 ・図示 ） 貸与資料（ ） ・ 分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンスゾフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析手法 ※JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による ・ <table><tr><th>材 料 名</th><th>定性分析</th><th>定量分析</th></tr><tr><td></td><td>・ 箇所数（ ）</td><td>・ 箇所数（ ）</td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所数（ ）</td><td>・ 箇所数（ ）</td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所数（ ）</td><td>・ 箇所数（ ）</td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所数（ ）</td><td>・ 箇所数（ ）</td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所数（ ）</td><td>・ 箇所数（ ）</td></tr></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示 ・ ・ アスベスト粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 <table><tr><th>適用</th><th>測定名称</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点 （各施工箇所ごと）</th></tr><tr><td>・</td><td>測定1</td><td>処理作業前</td><td>処理作業室内</td><td>計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定2</td><td></td><td>調査対象室外部の付近</td><td>計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定3</td><td>処理作業中</td><td>処理作業室内</td><td>計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定4</td><td></td><td>負圧・除じん装置の排気出口</td><td>以下位置 計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定5</td><td></td><td>処理作業室外（敷地境界）</td><td>計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定6</td><td>処理作業後（シート養生中）</td><td>処理作業室内</td><td>計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定7</td><td>処理作業後シート撤去後</td><td>処理作業室内</td><td>計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定8</td><td>1週間以降</td><td>調査対象室外部の付近</td><td>計 点</td></tr></table> 測定方法 <table><tr><th></th><th>測定3</th><th>測定1、2、4、6、7、8</th><th>測定5</th></tr><tr><td>メンブレンフィルタ直径 (mm)</td><td>25</td><td>25</td><td>47</td></tr><tr><td>試料の吸引流量 (l/min)</td><td>・ 1</td><td>・ 5</td><td>・ 10</td></tr><tr><td>試料の吸引時間 (min)</td><td>・ 5</td><td>・ 120</td><td>・ 240</td></tr></table> アスベスト含有建材の処理 ・ アスベスト含有吹き付け材の除去 除去対象範囲 ・ 図示 ・ 除去工法 ※9.1.3(b)(1)による 除去したアスベスト含有吹き付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ・ セメント固化 除去したアスベスト含有吹き付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（熔融施設） ・ アスベスト含有保温材の除去 除去対象範囲 ・ 図示 ・ 除去したアスベスト含有保温材の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（熔融施設） ・ アスベスト含有成形板の除去 除去対象範囲 ・ 図示 ・ 除去したアスベスト含有成形板の処分 ・ アスベスト含有せっこうボード ※埋立処分（管理型最終処分場） ・ アスベスト含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（熔融施設）	材 料 名	定性分析	定量分析		・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）		・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）		・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）		・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）		・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 （各施工箇所ごと）	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点	・	測定2		調査対象室外部の付近	計 点	・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点	・	測定4		負圧・除じん装置の排気出口	以下位置 計 点	・	測定5		処理作業室外（敷地境界）	計 点	・	測定6	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	計 点	・	測定7	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	計 点	・	測定8	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点		測定3	測定1、2、4、6、7、8	測定5	メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	25	47	試料の吸引流量 (l/min)	・ 1	・ 5	・ 10	試料の吸引時間 (min)	・ 5	・ 120	・ 240			
材 料 名	定性分析	定量分析																																																																																	
	・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）																																																																																	
	・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）																																																																																	
	・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）																																																																																	
	・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）																																																																																	
	・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）																																																																																	
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 （各施工箇所ごと）																																																																															
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点																																																																															
・	測定2		調査対象室外部の付近	計 点																																																																															
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点																																																																															
・	測定4		負圧・除じん装置の排気出口	以下位置 計 点																																																																															
・	測定5		処理作業室外（敷地境界）	計 点																																																																															
・	測定6	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	計 点																																																																															
・	測定7	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	計 点																																																																															
・	測定8	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点																																																																															
	測定3	測定1、2、4、6、7、8	測定5																																																																																
メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	25	47																																																																																
試料の吸引流量 (l/min)	・ 1	・ 5	・ 10																																																																																
試料の吸引時間 (min)	・ 5	・ 120	・ 240																																																																																

志摩市児童福祉施設遊具設置工事 概略工事工程表												
項 目	月 週	1月 1 2 3 4			2月 1 2 3 4			3月 1 2 3 4				
準備工		準備	承認図									
遊具製作工				遊具製作								
安養保育所解体工			既設遊具撤去（運搬処分）									
安養保育所基礎工				土工事 基礎工事（捨土）								
遊具設置工					遊具搬入据付							
置工養生・整地						整地・養生						
立神保育所解体工			既設遊具撤去（運搬処分）									
立神保育所基礎工				土工事 基礎工事（捨土）								
立神保育所遊具設置工					遊具搬入据付							
立神保育所養生・整地						整地・養生						

志摩市立安乗保育所




付 近 見 取 図



配置図 1/300

- ・雲梯取替
既設雲梯（全長5.2×幅0.6×高さ1.15～1.45m）撤去処分（基礎共）
新設雲梯：ステンレス製山形雲梯 AM-6103e 同等品
（全長5.00×幅0.6×高さ2.0m）
- ・新設すべり台
新設すべり台：1面滑り台ステンレス製 H=1500 AM-2131e同等品
（全長4.395×幅0.45×高さ2.50m）
- ・既設ブランコB撤去（ブランコ吊り具なし）
（全長3.4×幅1.0×高さ2.0m）

 A形バリケード 仮設①：既設遊具解体撤去時参考範囲
仮設②：遊具設置工事時参考範囲

工事名 令和3年度 志摩市児童福祉施設遊具設置工事	図名	縮尺	 瀧 鼻 設 計 事 務 所 一級建築士事務所 三重県知事登録第 1-1789 号 三重県志摩市阿児町立神 3055-1 TEL 0599-45-2188 FAX 0599-45-5335	一級建築士 大臣登録第284718号 瀧 鼻 健 一	図面No. A-05
	配置図	1/300			

・すべり台取替

既設滑り台（全長4.8×幅0.5×高さ1.60m）撤去処分（基礎共）

新設滑り台：1面滑り台ステンレス製 H=1500 AM-2131e 同等品
（全長4.395×幅0.45×高さ2.50m）

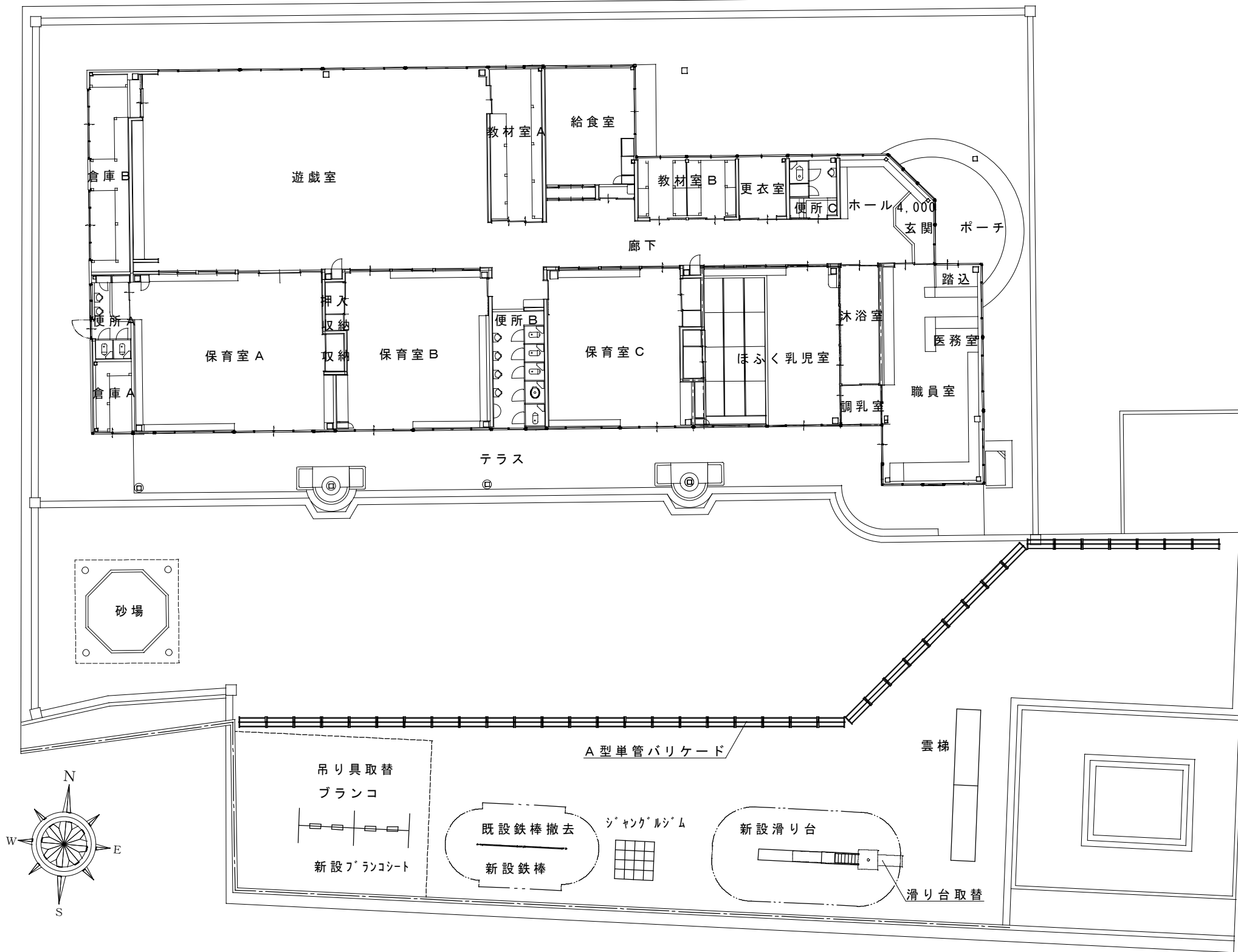
・鉄棒取替

既設鉄棒（全長1.8×高さ0.8m、支柱φ60mm）×2台撤去処分（基礎共）

新設鉄棒：ステンレス製低鉄棒2連 AM-5111S-SUS 同等品
（全長3.6×高さ0.9、1.1m）

・既設ブランコ高さ2.0m（吊り具取替）

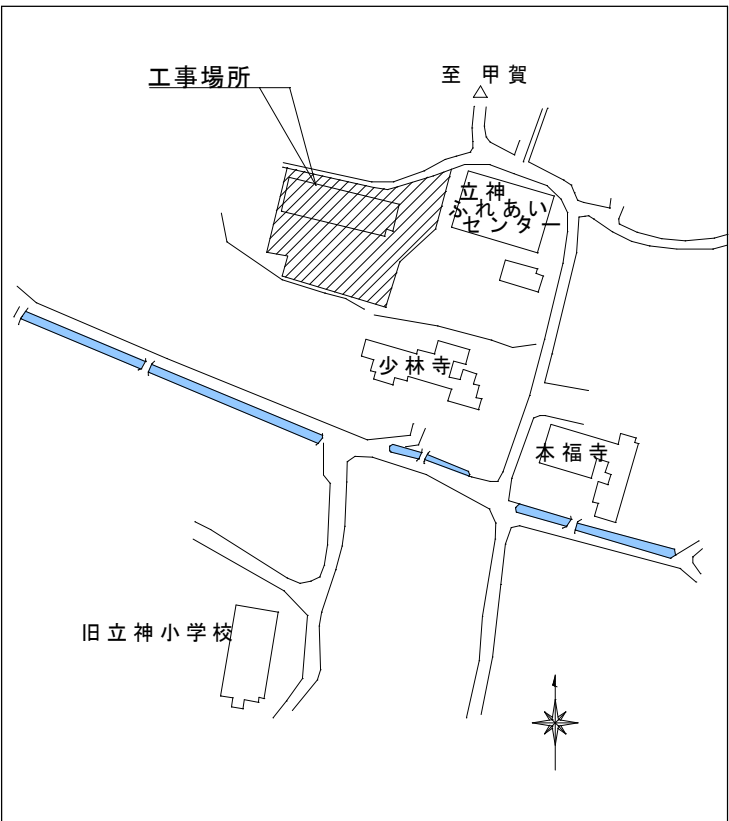
ブランコシート取替 4台 A0-2901G 同等品
既設吊り具処分共




≡ A形バリケード 遊具設置工事時参考範囲

配置図 1/200

志摩市立立神保育所

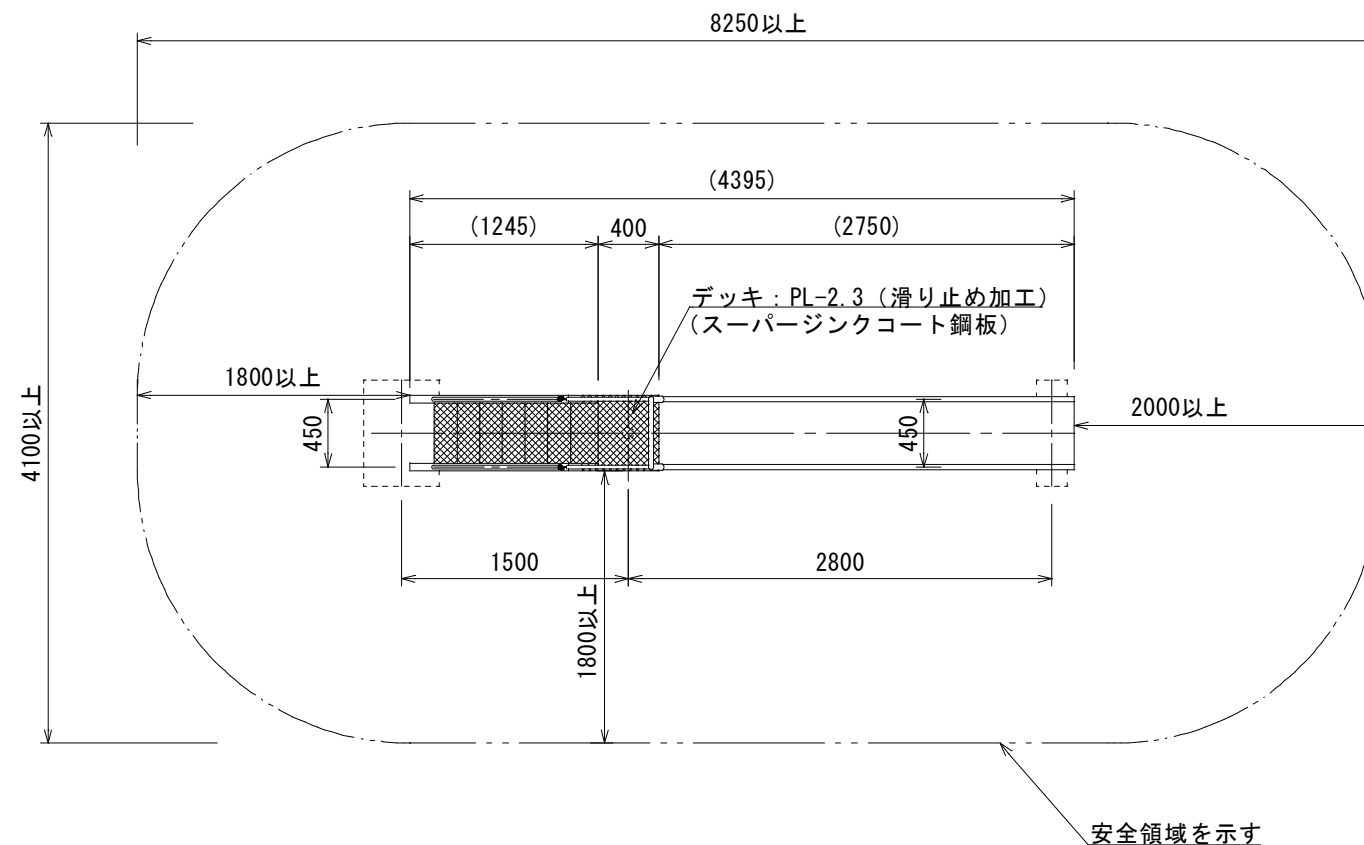


付近見取図

	工事名 令和3年度 志摩市児童福祉施設遊具設置工事	図名	縮尺	 瀧鼻設計事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録第 1-1789 号 三重県志摩市阿児町立神3055-1 TEL. 0599-45-2188 FAX 0599-45-5335	一級建築士 大臣登録第284718号 瀧鼻 健一	図面No. A-06
		配置図	1/200			

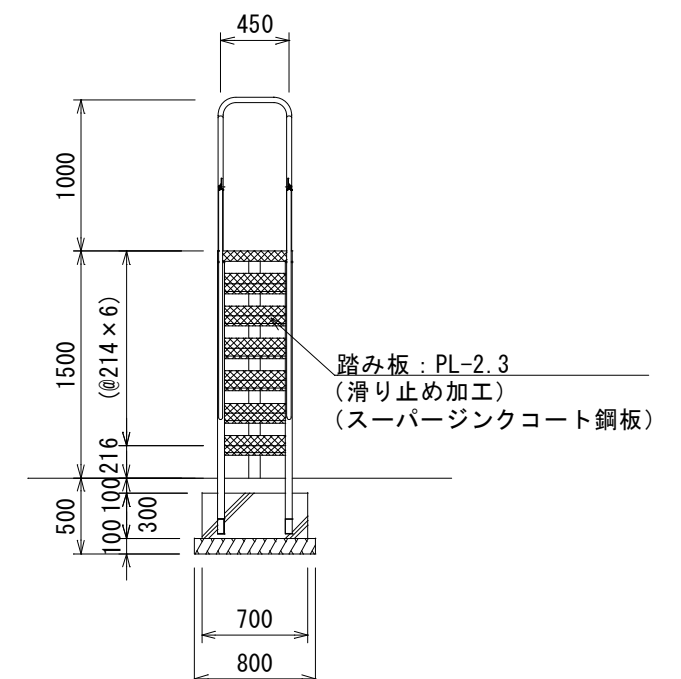
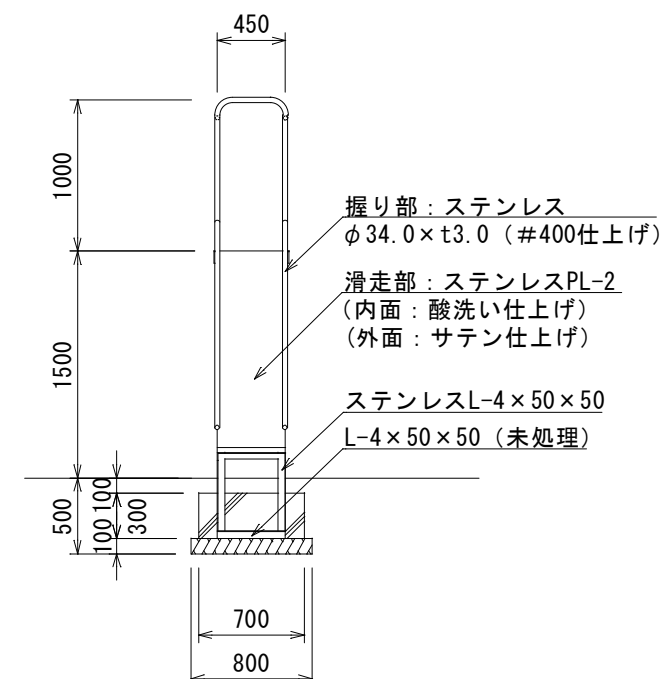
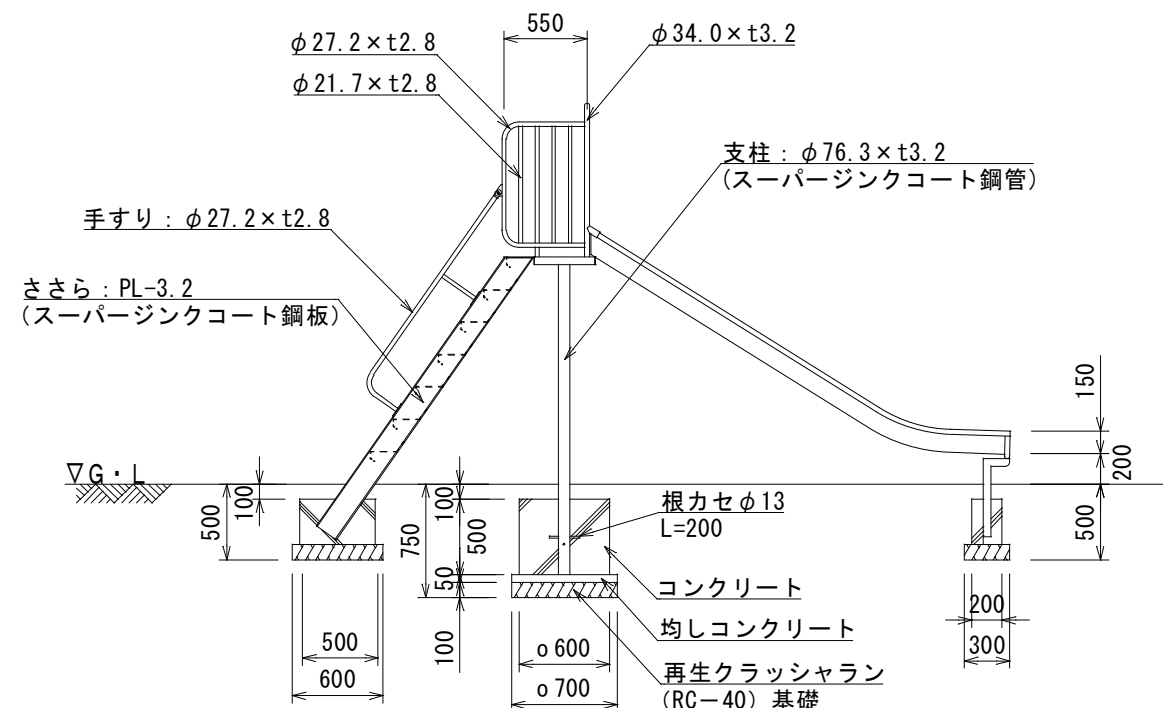
すべり台 (H=1500) S=1:50

(参考)



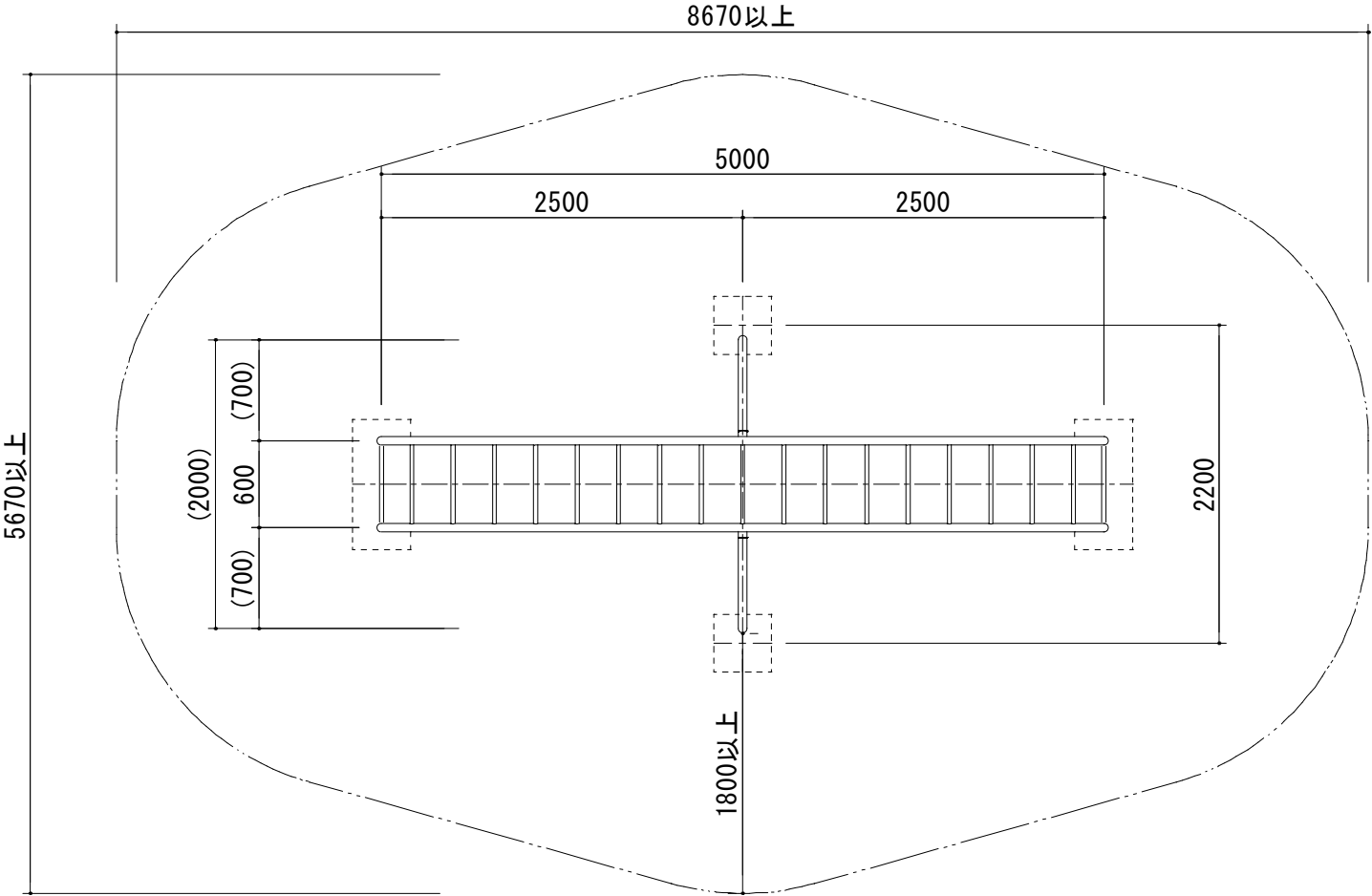
- 指示なき鉄部は、溶融亜鉛メッキ処理とする。
- 溶接部は、高濃度亜鉛末塗布処理とする。
- 支柱は、スーパージंकコート鋼管（溶融亜鉛メッキ+トップコート処理）とする。
- デッキ・踏み板・ささらは、スーパージंकコート鋼板（高耐食溶融メッキ鋼板）とする。
- 仕上は、ウレタン樹脂塗装仕上げとする。（根カセを除く）
- ステンレスはSUS304とする。
- 指示なきステンレス部は酸洗い仕上げとする。
- 設置する上で、安全領域を確保する事とする。
- 遊具の対象年齢は、3～12才とする。

設計条件	基本風速	地耐力
	34 m/s 以下	・長期地耐力 50 KN/m ² ・短期地耐力 100 KN/m ²



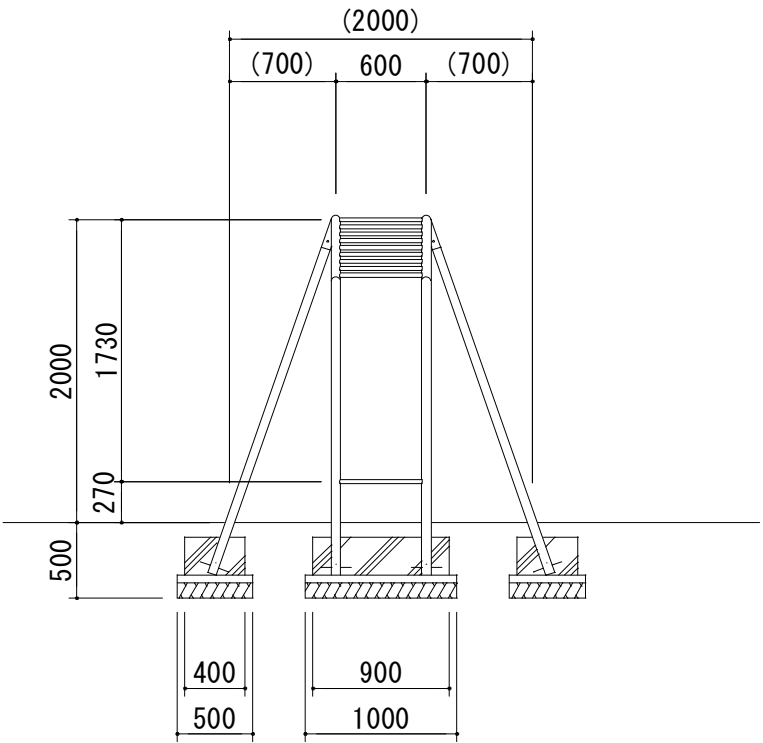
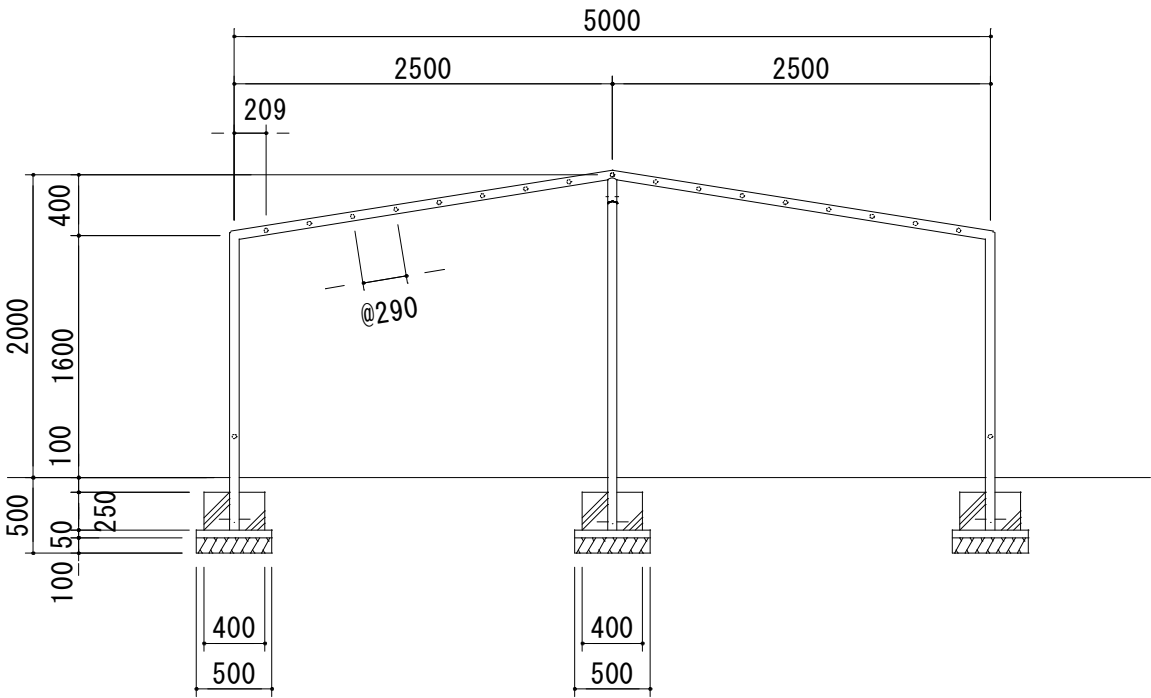
雲梯 S=1:50

(参考)



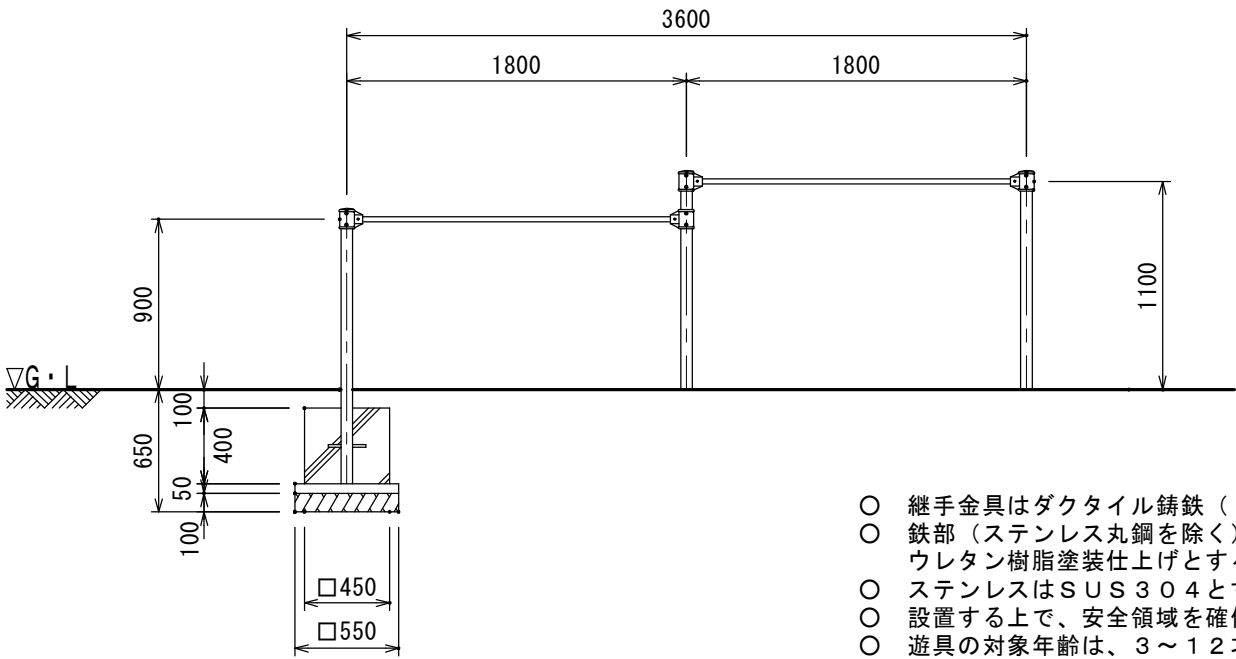
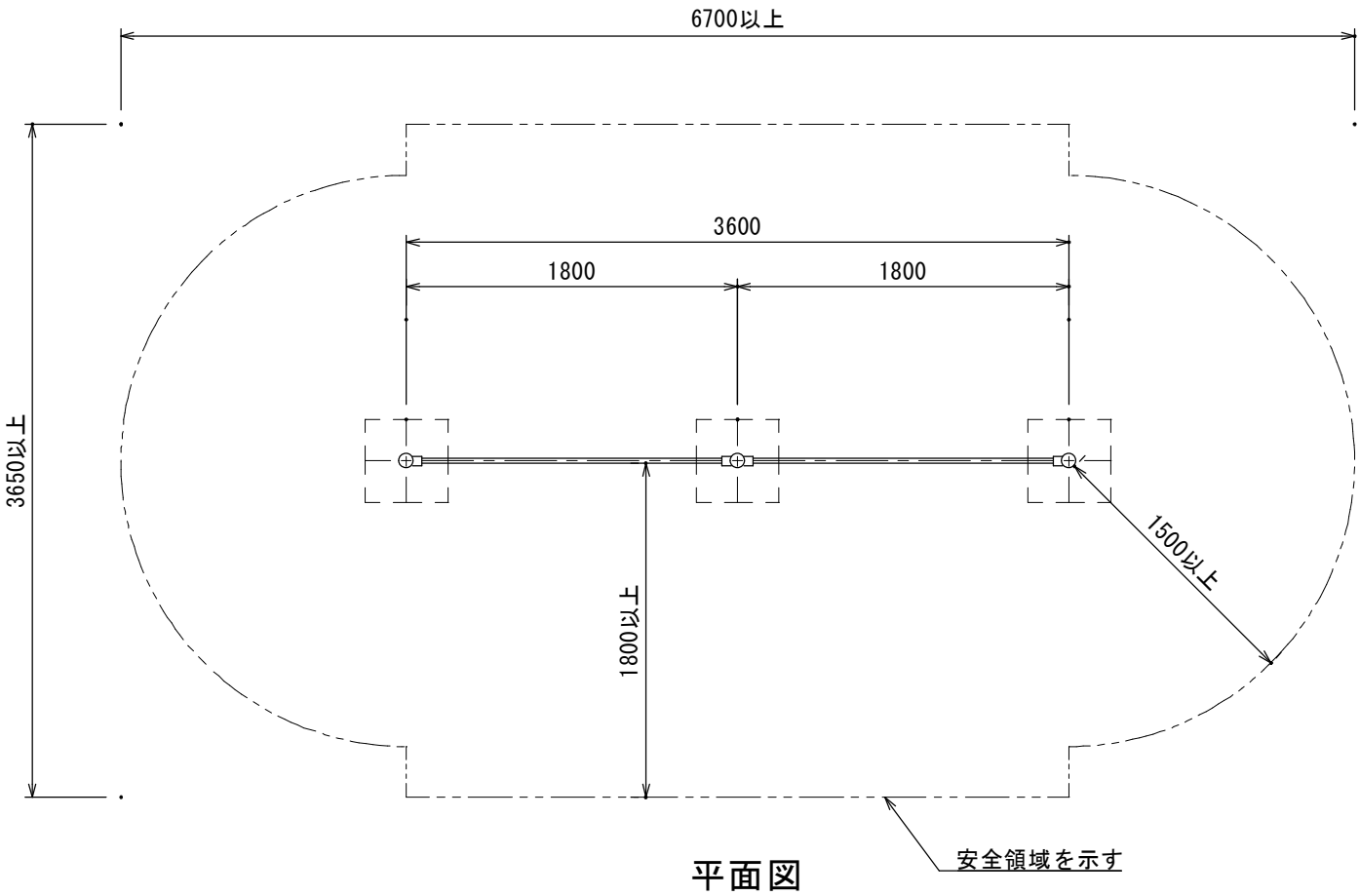
- ステンレスはSUS304とし、ウレタン樹脂塗装仕上げとする。(メーカー指定色)
- 設置する上で、安全領域を確保する事とする。
- 遊具の対象年齢は、6～12才とする。

設計条件	基本風速	地耐力
	34 m/s 以下	・長期地耐力 50 KN/m ² ・短期地耐力 100 KN/m ²




低鉄棒（2連・ステンレスシャフト）S=1:40

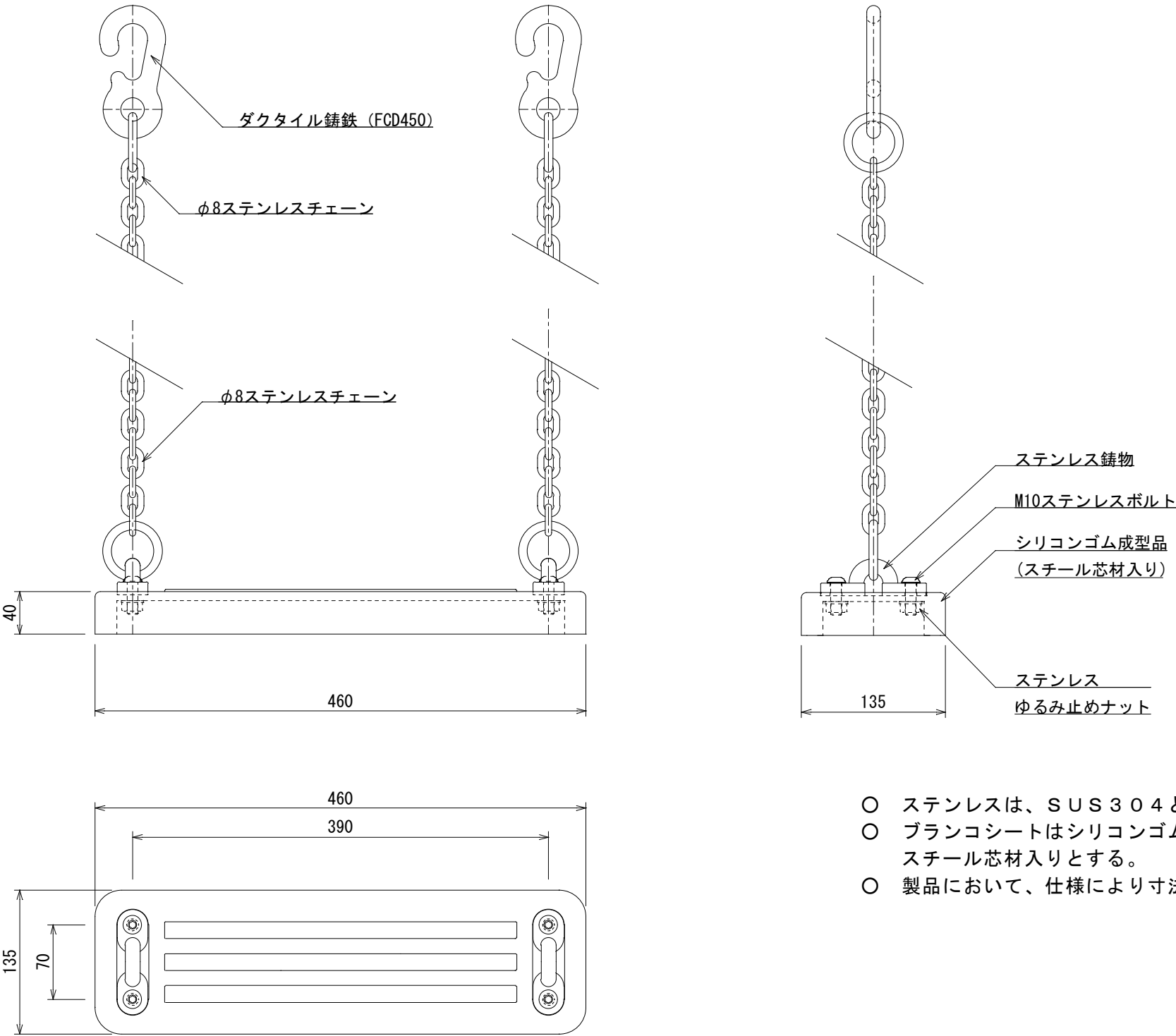
（参考）



- 継手金具はダクタイル鋳鉄（FCD450）とする。
- 鉄部（ステンレス丸鋼を除く）は、スーパージंकコート鋼管（溶融亜鉛メッキ+トップコート処理）とし、ウレタン樹脂塗装仕上げとする。（根カセを除く）
- ステンレスはSUS304とする。
- 設置する上で、安全領域を確保する事とする。
- 遊具の対象年齢は、3～12才とする。

	工事名 令和3年度 志摩市児童福祉施設遊具設置工事	図名	縮尺	 瀧鼻設計事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録第 1-1789 号 三重県志摩市阿児町立神3055-1 TEL. 0599-45-2188 FAX 0599-45-5335	一級建築士 大臣登録第284718号 瀧鼻 健一	図面No. A-09
		遊具詳細図（鉄棒）	1/40			

ブランコシート S=1:5
(参考)



- ステンレスは、SUS304とする。
- ブランコシートはシリコンゴム成型品（色：グリーン）とし、スチール芯材入りとする。
- 製品において、仕様により寸法・材質等の変更がある場合は承認図による。